

お気に入りのバラを楽しむ

4月29日から5月28日まで、石橋文化センターで「春のバラフェア」が開催され、400種、2600株が園内を彩りました。今年のテーマは「私のお気に入り my favorite time」。ガーデンコンサートやワークショップなど五感でバラを楽しむイベントも開催。来園者は、写真を撮ったり香りを楽しんだりして「お気に入りの自分時間」を過ごしました。



フォトスポットとして人気のバラのアーチ

未来のプレーヤーを目指して

5月15日から21日まで「ユー・エス・イーカップ国際女子テニス」が4年ぶりに開催されました。10の国と地域から50人の選手が参加。7日間の熱戦が繰り広げられました。期間中は市民参加型イベントも。数々の選手を育てた小浦猛志氏によるレッスンを受けた小学1年の直居智基さん(熊本県)は「ボレーの練習が楽しかった」と話しました。



レッスンには25人が参加。コーチからのアドバイスを吸収し、その日のうちにめきめき上達していました

エツへの感謝と豊漁を願って

5月1日にエツ漁解禁と感謝祭が、城島町のエツ大師堂前で行われました。夏の風物詩であるエツに感謝するとともに、漁の安全と豊漁を祈願。神事後は骨切りと漁の実演が行われました。同祭実行委員長の高山良徳さんは「今までにないくらい立派なものが取れました。脂が乗っているエツをぜひ皆さんに楽しんでほしい」と話しました。



漁の見学では網に約30cmのエツがかかりました。漁は7月20日㈯まで行われます

文化芸術活動を披露

5月20日と21日に久留米シティプラザで「みんなのステージ発表会2023」が行われました。昨年度まで実施していた「芸能フェスティバル」をリニューアルし、2日間に拡大しました。市内や近郊で活動する団体や個人31組が出演。年齢やジャンルは問わず、三味線やゴスペル、吹奏楽、ダンス、大道芸など日頃の練習の成果を披露しました。観客からは歓声と拍手が送られました。



出演者だけでなく観客も幅広い年齢層の人が集まりました

企業と市民で防災・減災対策

5月21日、宮ノ陣町をはじめ、市内6カ所で企業や市民が協働して排水路のしゅんせつや土のう作りに取り組みました。参加したのは、地域住民や各地区の土木協同組合、学生ボランティアなど560人。大雨に備えた防災・減災対策の取り組みの一環です。参加した平田一翔さん(久留米工業大3年)は、「今回の取り組みで、地域の皆さんの活動に対する思いを知ることができた」と話しました。



排水路の泥や草を取り除きました

小学生5人が一日園長に

5月5日の子どもの日に、鳥類センターで市内の小学生が一日園長を務めました。参加したのは、公募で選ばれた5人。園内の見学後、動物慰霊碑に献花したり、園内放送やフラミンゴの餌やりをしたりと、大忙しでした。一日園長を体験した赤星和さん(田主丸小4年)は、「来園者に鳥の種類や特徴を説明する、特別な体験ができました」と笑顔で話しました。



来園者にフラミンゴについて説明する5人

市公式 SNS で情報発信中

災害などの緊急情報はもちろん、暮らし、観光、イベント情報など生活に役立つ情報をさまざまな方法で発信中。

 ホームページ 市民の皆さんに必要な行政情報	 ライン 「選べる×届く」お役立ち情報
 ユーチューブ 旬な話題や市長記者会見など	 フェイスブック タイムリーなイベント情報
 くるっば ツイッター くるっばのつぶやき	 くるっばぐらむ 久留米の魅力を知ると紹介

※ QR コードは株式会社デンソーウェーブの商標登録です

TV・ラジオで放送中

KBC テレビd ボタン

①テレビでKBCを視聴
 ②リモコンの「d」ボタンを押す
 ③市の情報を最大12項目表示

ドリームス FM (76.5MHz)

- ・広報くるめラジオ版 (月～金) 12時5分
- ・インクルージョンのin久留米 (土) 14時48分。お笑い芸人が久留米のよかとこを配信

インクルージョン (福岡よしもと)

今月の表紙

筑後川本格改修100周年



筑後川本格改修100周年を迎えるに当たり、原口新五市長と吉田大筑後川河川事務所長が対談しました。(8ページ)